

令和2年度 修了式式辞

児童の皆さん、終了おめでとうございます。この後、担任の先生から一人一人に修了証書を渡していただきます。これは、「皆さんが、この1年間の勉強や生活が無事終えることができました。4月からは一つ上の学年に進級をしてもよろしい」という印です。みんな一緒に進級できることを喜びましょう。良かったですね。

さて、皆さんはこの1年間の学校生活の中で、いろいろな頑張りをを見せてくれました。言い換えると、本校の校訓であり、目標でもある『温かい子』『強い子』『明るい子』に一步近づけたと言えるでしょう。

それではくわしくお話をしましょう。

まずは『温かい子』についてお話しします。私たちは一人で生活できません。多くの人と助け合いながら生活しています。特に学校では、友だちと一緒に力を合わせて過ごすことで、人を思いやることの大切や、助けていただいている人への感謝の気持ちが生まれています。道徳の学習・学校行事・委員会活動や係活動を通じて、皆さんの心には、相手をいたわる心が育ってきました。その証拠に、「ぽかぽか週間」には、友だちへの感謝の言葉や、心優しい友だちの行動を書いたカードがポストからあふれるほど集まりました。それは皆さんの優しさが形として表れたものです。温かな子に育っている皆さんを私は嬉しく思います。

2つ目の『強い子』についてお話しします。私の心に残っているのは学習規律を大切にし、授業に臨む皆さんの姿です。持ち物の決まり、話を聞くときの決まり、話すときの決まりなど生活態度や学習態度を整え、じつくりと課題に向き合うことができました。また学期ごとにあった読書週間では、お話の世界に没頭する様子が見られました。更にチャレンジ家庭学習習慣には、目標時間を設定し、宿題だけではなく自主的な学習にも取り組む姿も見られました。決まりや目標に向かって強い気持ちで取り組む杉小っ子の底力を見せてくれました。

3つ目の『明るい子』についてお話しします。休み時間になると、運動場へ飛びだし、ボールを追ったり、遊具で遊んだりする子がたくさんいました。校庭にはみんなの弾む声が響き、笑顔がたくさん見られたこと。そして、命を大切にし、大きなけがなく全員元気に学校生活を送れたことを、みんなで喜びたいと思います。

このように、今年1年間で着実に成長してくれた皆さんに大きな拍手を送ります。そして、今後更に成長を遂げていくことを期待しています。

次の学校へ来るのは、4月7日です。そのおりには、学年が一つ上がっていますので、今と同じ気持ちできてはいけませよ。心も一つ大きくなって、「がんばるぞ!」という気持ちを持って、登校してください。

皆んなそろって、引き締まった顔を見せてくれるのを楽しみにしています。
では、これでお話を終わります。

令和3年3月24日

多可町立杉原谷小学校長
吉田 重徳